

# 2010年の三原



 社団法人 **三原法人会青年部会**

20周年記念誌



## 法人会の基本的指針

法人会はよき経営をめざすものの団体として  
会員の積極的な自己啓発を支援し  
納税意識の向上と  
企業経営および社会の  
健全な発展に貢献します

## ごあいさつ



青年部会長  
大名 毅

社団法人三原法人会青年部会は、平成2年4月に発足し、本年度、お陰さまで創立20周年の節目の年を迎えることができました。

この10年を振り返ってみますと、市町村合併に伴う税務署管轄の異動により、平成17年7月に久井支部が尾道法人会から三原法人会へ、また、翌年7月には瀬戸田支部が尾道法人会へと移り、当初59名からスタートした部会員は、10周年時には62名、そして20周年の今、部会員は49名となっています。

日本経済はアメリカに端を発した世界的景気後退の影響を受け、わが三原においてもその余波を大きく受け、厳しい企業も少なくありません。しかしながら、この厳しい状況だからこそ、私たち青年部会の役割は大きく、「よき経営者を目指すものの団体」との基本理念に基づき、部会員の研鑽を支援する研修会、また、租税教室に積極的に取り組むなどの「税」に関する活動、さらに、ボランティアなど地域に密着した活動を通じての社会貢献など、様々な事業を通じて、豊かな地域づくりに微力ながらも全力を尽くしたいと思っています。

また、われわれ青年部会は、20周年という節目の年を迎え、今後、一層次代を担う経営者としての資質向上を図るとともに、法人会の事業活動に積極的に参画し、会活動の充実と活性化に寄与し、地域社会に必要とされる青年部会として、地域活性化のために貢献して参りたいと思っています。

最後になりましたが、創立にご尽力いただきました三原税務署をはじめ関係団体の方々、そして、親会および諸先輩方に厚く感謝申し上げますとともに、今後ともこれまで以上のご指導・ご鞭撻の程よろしく願い申し上げます、挨拶といたします。



20周年記念事業  
実行委員長  
伊達 護

平成2年4月に発足した社団法人三原法人会青年部会が本年、20周年を迎えることが出来ました。これまで、ご尽力、ご協力を頂いた会長様を初めとする法人会の皆様、青年部会の諸所先輩方、並びに三原税務署様に深く感謝申し上げます。

さて、20周年を迎えるに当たり、記念事業について部会員で協議いたしました。

80年代の好景気の時代が過ぎ去り、「混沌」とした時代を迎えたといわれた「ミレニアム」、それから、10年の時が過ぎ、世界的な経済不況のダメージからの出口が見えないままのわがまち「みはら」。

平成の大合併による広がる地域、三原のランドマークともいえる、ペアシティ東館の取り壊しに伴う再開発の問題、完成間近の三原バイパス等々、10年前とこれからは「混在」しているように思います。今後、「みはら」は大きく変わっていくだろうと思えてなりません。

そこで、諸先輩方が行われた記念誌と照らし合わせながら、この変わりゆくわが「まち」を記録として残し、次世代に渡すことは記念事業として非常に意義深いのではとの結論になり、この記念誌を作成することにいたしました。

先輩方が編集作業をされた時は写真の整理・収集が大変だったと伺っていましたが、今では多くの方の携帯電話にカメラが付き、デジタルカメラの技術が向上し、電子メールの普及も広がったお陰で、収集や整理も随分、手早く出来たように思います。

こういった私たちの日常の常識といった面からも、10年先がどのような時代になっているのか、想像すらも出来ませんが、ひとり一人が輝き、生き生きとした時代になっていることを祈念して、この記念誌を次世代に残したいと思っています。

## ご祝辞



三原税務署長  
川川 秀行

社団法人三原法人会青年部会の創立二十周年に当たって、記念誌を発行される運びとなりましたことを心からお喜び申し上げます。

ご承知のように、青年部会は平成二年四月の創立以来、歴代の部会長を中心に、次代を担う若手経営者が将来に向けて飛躍するため、多彩な行事や研修会の開催など地域社会貢献活動を積極的に推進され、活発で魅力ある部会づくりに熱意を持って今日まで取り組んでこられました。現在は大名部会長のもと、沼田川の清掃活動、租税教室への講師派遣、更にはエコキャップ推進運動などの活動を真摯に展開されておられますことは、誠に心強い限りでございます。

また、創立二十周年の記念事業として「2010年の三原を残そう」を合言葉に記念企画を実施され、その取り組みは新聞等で報道されるなど、青年部会の活躍振りを広くアピールされており、改めまして、心から敬意を表する次第でございます。

税務行政の円滑な運営は、私どものみでは到底なし得るものではなく、皆様をはじめ納税者の方々の深いご理解とご協力が是非とも必要であります。

今後とも、皆様には部会活動を通じまして、「健全な納税者の団体、よき経営者をめざすものの団体」との基本理念に基づき、申告納税制度の普及発展、税知識の普及、更にはe-Taxの普及拡大などに、一層のご尽力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

加えて、青年部会の企画力や行動力で大きな役割を果たされ、本会をリードしていただき、更に活気溢れる三原法人会になられますことを祈念いたしております。

最後になりましたが、社団法人三原法人会、三原法人会青年部会の益々のご発展と、皆様のご繁栄並びにご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



会長  
勝村 善博

青年部会が創立20周年を迎えましたこと、誠にめでたうございます。

思い起こしますと青年部会は、昭和63年に全国法人会総連合(全法連)から単体法人会で青年部会を設立し青年経営者の育成を図ってほしいという要請があり、平成2年4月に県下9番目の青年部として設立いたしました。平成10年4月には名称を青年部会と改め、平成12年に全法連指導のもと45歳定年を50歳定年に延長しました。又、市町村合併に伴う税務署管轄変更など変遷を経て、部会員は創立時59名から現在49名となっております。

ここに創立20周年を迎えることができましたのも、偏に創立時より三原税務署をはじめ各関係団体の皆様並びに先輩の方々の絶大なご尽力、ご協力いただいた賜と厚く御礼申し上げます。

青年部会の活動は、研修会や講演会、社会貢献活動として沼田川清掃活動、小学6年生を対象とした租税教室、又、ペットボトルのキャップを集めて世界の子供達にワクチンを送ろうというエコキャップ推進運動等、地域社会へ役立つ活動を実施しており、青年部会の活動は、今や法人会活動の主柱を担っていただいているのが現状でございます。

さて、法人会を取り巻く環境は、公益法人制度改革に伴い、全国の単体法人会は公益法人認定取得を目指しております。その為には、公益的的事业割合をより増やすことが求められます。今後とも青年部会の皆様には、さらに地域社会に貢献できる公益的的事业を積極的に展開していただきますようお願い致します。

日本経済は、外需に期待できる大企業は、中国向けの需要を中心に業績を持ち直してきているようですが、外需に無縁の私達地方の中小零細企業は依然として大変厳しい状況が続いています。しかし、ぼやいてばかりでも問題は解決しません。青年部会の若い力と行動力、柔軟な発想と思考力でこの不況を乗り越え、三原の活性化のためにも貢献していただきたいと期待しております。

終わりに、青年部会の更なる発展と皆様のご健勝を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



三原駅前市民広場



造成前のペアシティ跡地



造成中のペアシティ跡地



整地中のペアシティ跡地



三原駅前市民広場完成



三原市役所



三原警察署



三原税務署



三原市役所本郷支所



法務局



三原商工会議所



城跡より本町を望む



三原城跡



筆影山から三原バイパスを望む



三原バイパス工事(中本憲司)



三原バイパス



渋滞解消バイパス出口(糸崎)



すなみ海浜公園レストラン



須波港



須波駅



日赤新築と日赤解体工事(大澤則英)



旧・興生総合病院



興生総合病院



白竜湖(大和)



筆影山からの眺望



すなみ海浜公園



筆影山からの眺望



すなみ温泉夜景



須波漁港



幸崎漁港



沼田川七宝橋



幸崎トンネル



白滝山



白滝山 大滑の滝



芦田川源流(大和)



瀑雪の滝(本郷)



沼田本郷の天然水



空港大橋(本郷)



須波から瀬戸内海を望む(浦郷里枝)



和久原川



ジャスコ三原店



フジグラン三原



ヤマダ電器三原店



ポポロ



宮浦市街地



旧・三原グランドパレス



酔心山根本店



トスコ



久井文化センター 福祉会館



果実の森(大和)



白竜湖ドーム(大和)



南小学校



第二中学校跡地公園



宮浦中学校



棲真寺山オートキャンプ場(大和)



幸陽ドック



西小学校建替中



西より県立広島大学三原キャンパス



第二中学校跡地石碑



JR本郷駅ロータリー



三原運動公園



小原工業団地



マリンロード



アーケードがとれた帝人通り北入口



三原駅



本町商店街



乗船券売場(三原港)



三原港



三原港



三原内港



バイパスから三菱重工を望む



内港から三菱重工を望む



筆影山と帝人



筆影山より和久原川河口、市街地を望む



和久原川河口・トスコ



三菱正門前踏切跡地



定屋橋



松浜漁港



整備された尾道三原線(中之町)



下水処理施設護岸(ダルマ)



下水処理施設護岸(タコ)



下水処理施設護岸(やっさ踊り)



やっさ踊り像



興安丸の錨



須波



自動販売機



JR三原駅コンコース



三原駅バスロータリー



瀧宮神社80年ぶりに復活した子どもみこし



神明山



瀧宮神社80年ぶりに復活した大人みこし



新高山城跡(本郷)



米山寺



糸崎神社



久井江木 稲荷神社



千川神社と銀杏の木

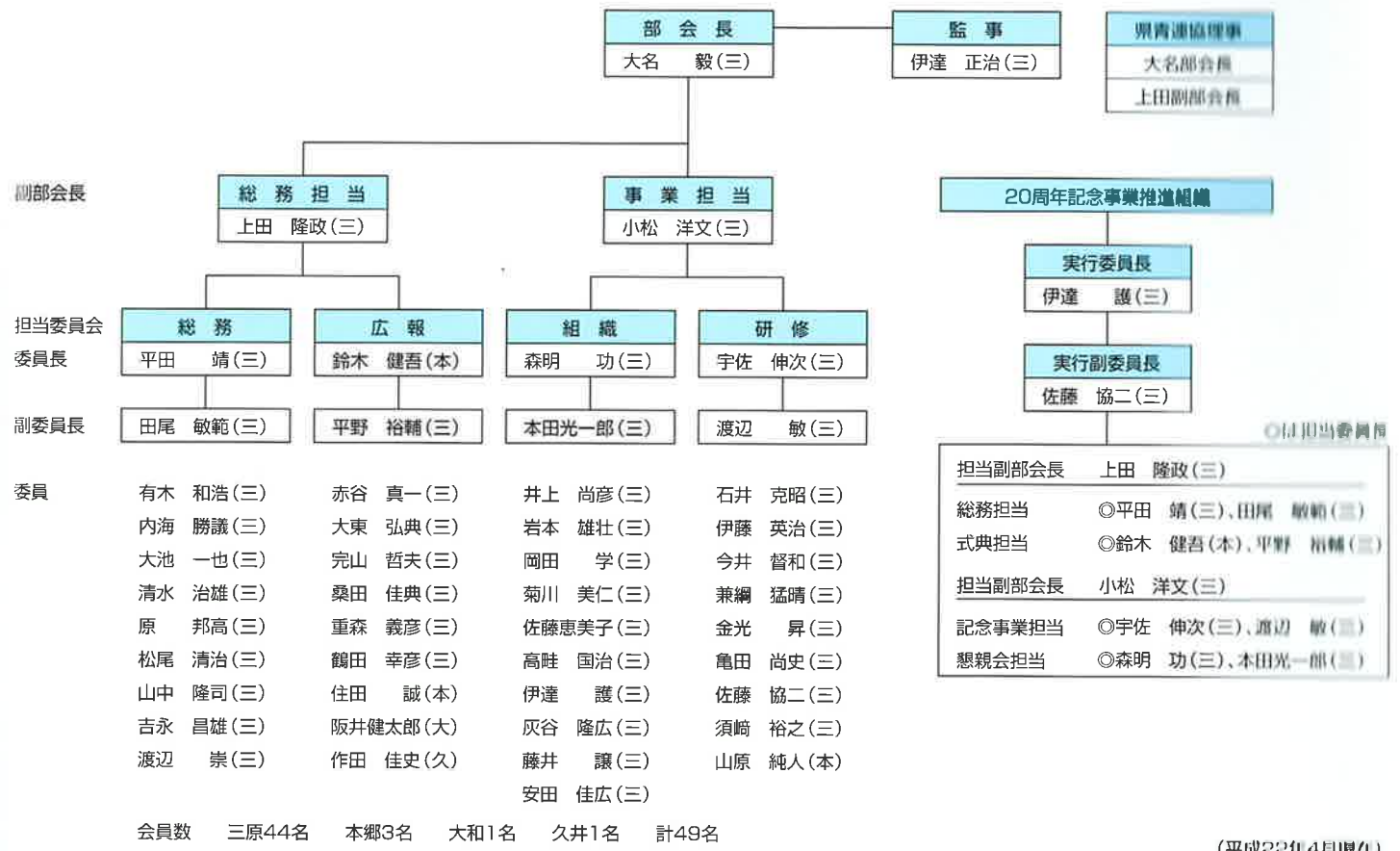


幸崎神社



備後と安芸の境

# 組織図



## 編集後記

社団法人三原法人会青年部会20周年記念事業「2010年の三原」のアルバム記念誌の制作にあたって、地域の皆さんからご覧のように大変すばらしい写真を送っていただきました。編集にあたっては、どれも甲乙付けがたく大変苦勞いたしました。なんとかそれらを4つのテーマに分類し、テーマごとに記念誌へ掲載させていただくことができました。なお、テーマの分類・掲載順・写真の大きさなど、こちらの方で決めさせていただきましたことをお詫び申し上げます。また、この事業にご参加いただいた皆さまのご協力に、社団法人三原法人会青年部会会員一同、心より厚くお礼申し上げます。

私たち社団法人三原法人会青年部会は、今後一層異業種交流・自己研鑽に励み、地域社会に貢献できる企業になれるよう努力を続けて参ります。そして、25周年・30周年に向けて決意を新たに全ての部会員が協力しあい頑張る参ります。今後とも地域住民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

記念事業担当委員長 宇佐 伸次



